

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 5月12日

議 会 議 長 様

議席番号 1 番

議員氏名 太 田 康 之

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. こども誰でも通園制度の検討は	<p>近年、少子高齢化が急速に進行している状況下、就園していないこどもは0～2歳児の約6割を占めており、子育て家庭の多くが孤立した育児の中で不安や悩みを抱えている状況です。</p> <p>こうした状況を受け、全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を強化するため、本年4月1日に「こども誰でも通園制度」が制度化されました。</p> <p>この制度は、就労の有無にかかわらず、月一定時間までの利用可能枠の中で、こどもを預けることができるという制度です。既に試行的に一部の自治体で実施されているところですが、令和8年度からは本格的に全国で実施されることとなっています。</p> <p>そこで、当町における検討と進捗状況等について、以下伺います。</p> <p>(1) 実施に向けたスケジュールは。</p> <p>(2) 実施方法について、実施園や利用時間、利用料金等の検討状況は。</p> <p>(3) 現在、実施している一時預かり事業とのすみ分けは。</p> <p>(4) この事業の目的の一つとして、虐待の早期発見や要支援家庭への配慮があるが、関係機関等との連携体制は。</p>	町長 副町長 子育て支援課長 健康支援課長 担当課長

5月12日 午前・午後 9時30分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
2. 米高騰への対策は	<p>米の価格高騰が続いています。令和7年4月に販売された米5キロあたりの平均価格は4,220円。1年前の約2倍となっています。スーパーから米が消え、米の価格は史上最高に高騰し、町民生活を苦しめています。価格高騰の原因が究明されずこのまま高値が続くのか不安が募っています。</p> <p>そうした中、今年も田植えの季節がやってきました。私たちが食べる主食用米の需要が高まる一方で、今年は飼料用米の作付けを減らす動きが広がっています。</p> <p>また、米不足で昨年、ふるさと納税制度で米を入手する人が急増しました。2024年度のふるさと納税の返礼品で米を扱った多くの市町村が品切れになったとの報道もありました。品切れのため申し込んだ人に米を発送できない事態に陥ったそうです。</p> <p>一方、生産する農家側からは赤字生産からの脱却ができそうだと安堵の声もあります。杉戸町は町の面積の約半分が農地であり、その約8割が水田である米の生産地であります。</p> <p>町としてこの令和の米騒動への対応等について、以下伺います。</p> <p>(1) 米価格が高騰しているが、町として生産量への働きかけは。</p> <p>(2) ふるさと納税に対する米の確保は。</p> <p>(3) 学校給食、保育園給食への影響と対策は。</p> <p>(4) アグリパークにおける米販売への影響と対策は。</p>	<p>町長 副町長 産業振興課長 総合政策課長 教育総務課長 子育て支援課長 担当課長</p>